

「千葉市中央区8050問題を考える会」

活動報告

令和5年1月28日

代表：加藤 聡子

目的

8050問題を抱えるご家庭を早期発見し、
地域で支える仕組みづくりを行う



1. 困りごとを相談できる地域づくり
2. 問題解決のための支援体制づくり

参加メンバー

- ・千葉市こころの健康センター
- ・千葉市あんしんケアセンター
- ・千葉市ひきこもり地域支援センター
- ・中央区障害者基幹相談支援センター
- ・民生委員児童委員協議会
- ・千葉市生活自立・仕事相談センター中央
- ・千葉障害者キャリアセンター
- ・千葉市障害者グループホーム連絡協議会
- ・ちば地域若者サポートステーション

令和4年度 活動実績

活動実績

第1回	4月	15人	今年度の活動内容、講演会の検討
第2回	5月	14人	事例検討、講演会の検討
第3回	6月	15人	事例検討、講演会の検討
第4回	7月	16人	講演会の検討
第5回	8月	14人	講演会の検討
第6回	9月	16人	講演会の検討
第7回	10月	12人	講演会の振り返り、事例検討
第8回	11月	13人	内部勉強会
第9回	12月	11人	内部勉強会、事例検討
第10回	1月	11人	事例検討

1. 困りごとを相談できる地域づくり

はち まる ごー まる **入場無料**

8050

問題を考える

～ひきこもりからの再スタート～

日時

9月17日(土)

受付開始 12:30
 講演会 13:00～15:40
 個別相談予約会 15:50～16:20

講演内容

13:00～14:00
 『ひきこもりからの再スタート』
 14:10～14:40
 『8050問題と医療』
 14:40～15:00
 『千葉市による8050問題への取り組み』
 15:10～15:40
 『当事者座談会』

オンライン配信あり

※オンライン配信をご希望の方は、下記の申し込みフォームからお申し込みください

会場

ホテルポートプラザちば
 ～ロイヤルの間～

- ◆JR京葉線「千葉みなと駅」より徒歩1分
- ◆千葉都市モノレール「千葉みなと駅」より徒歩1分
- ◆京成電鉄「新千葉駅」より徒歩10分
- ◆JR総武線「千葉駅」よりタクシー又はモノレールにて5分

【申し込み先・問い合わせ先】

電話 043-445-7733
 FAX 043-445-7785
 Mail chibachuo8050@gmail.com
 申し込みフォームはこちら



当日受付OK



8050問題とは、80代の高齢の親が50代の無職やひきこもり状態の子とも同居し、経済的な困窮や社会的孤立に至るとい社会問題です。

主催：千葉市中央区80・50を考える会（中央区地域活性化事業） 後援：千葉市

①市民向け講演会(9月)

8050問題を考える～ひきこもりからの再スタート～

第1部 ひきこもりからの再スタート

特定非営利活動法人 文化学習共同ネットワーク代表理事 佐藤洋作氏

第2部 8050問題と医療

千葉市心の健康センター所長 稲生英俊氏

千葉市による8050問題への取り組み

NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば副理事長 平田智子氏

第3部 当事者座談会



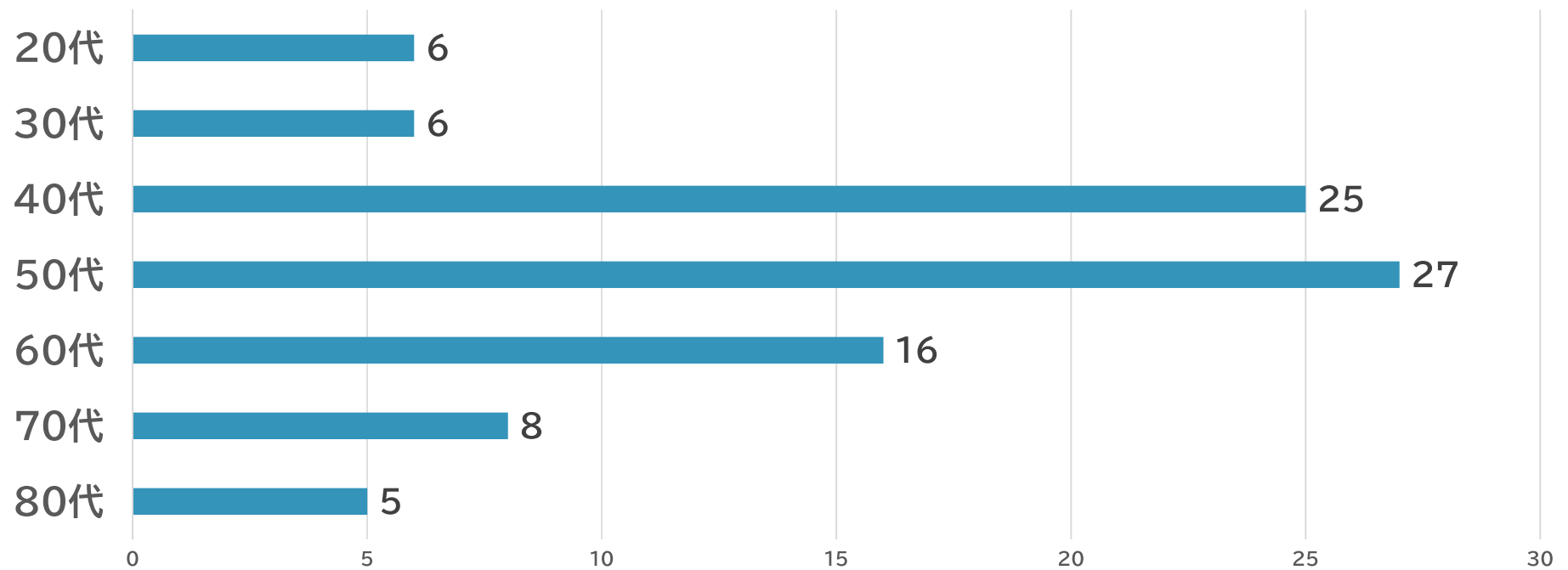
参加人数

於：ホテルポートプラザロイヤルの間

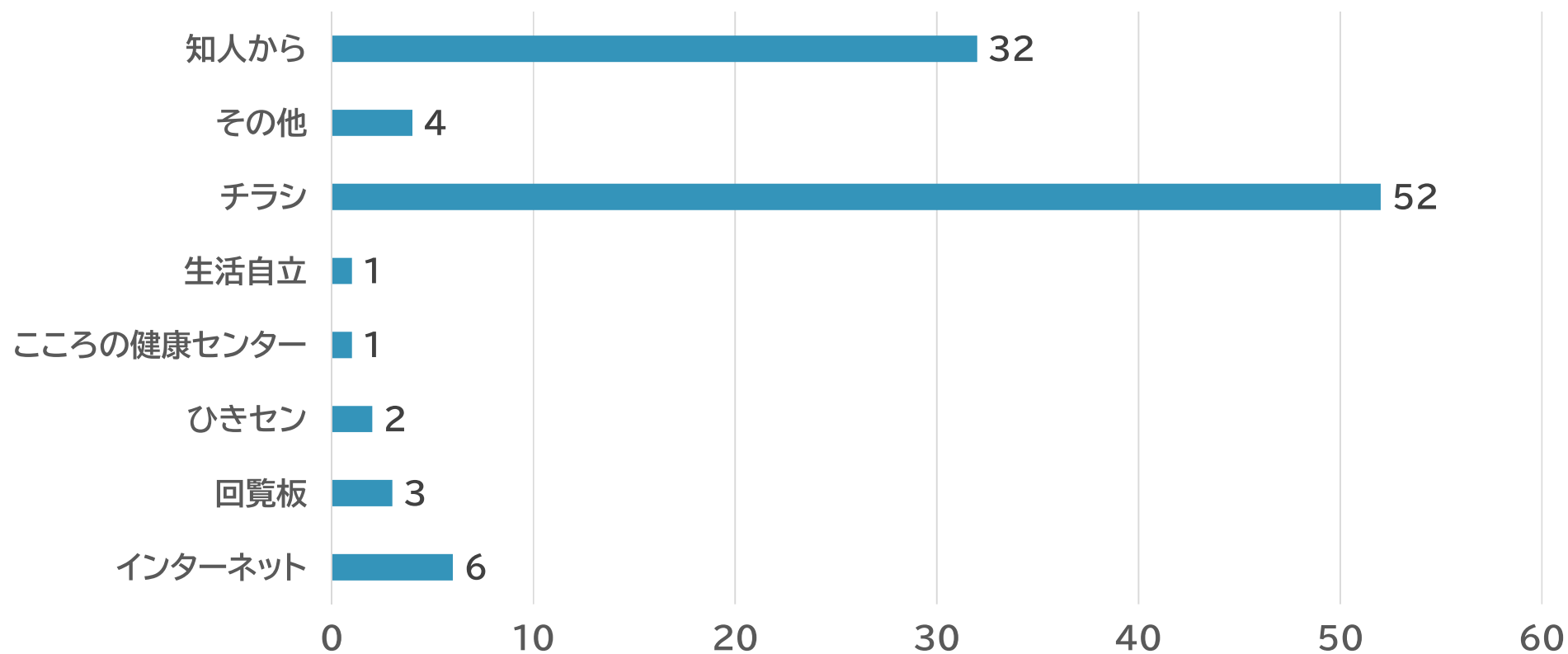
会場134人、オンライン45人

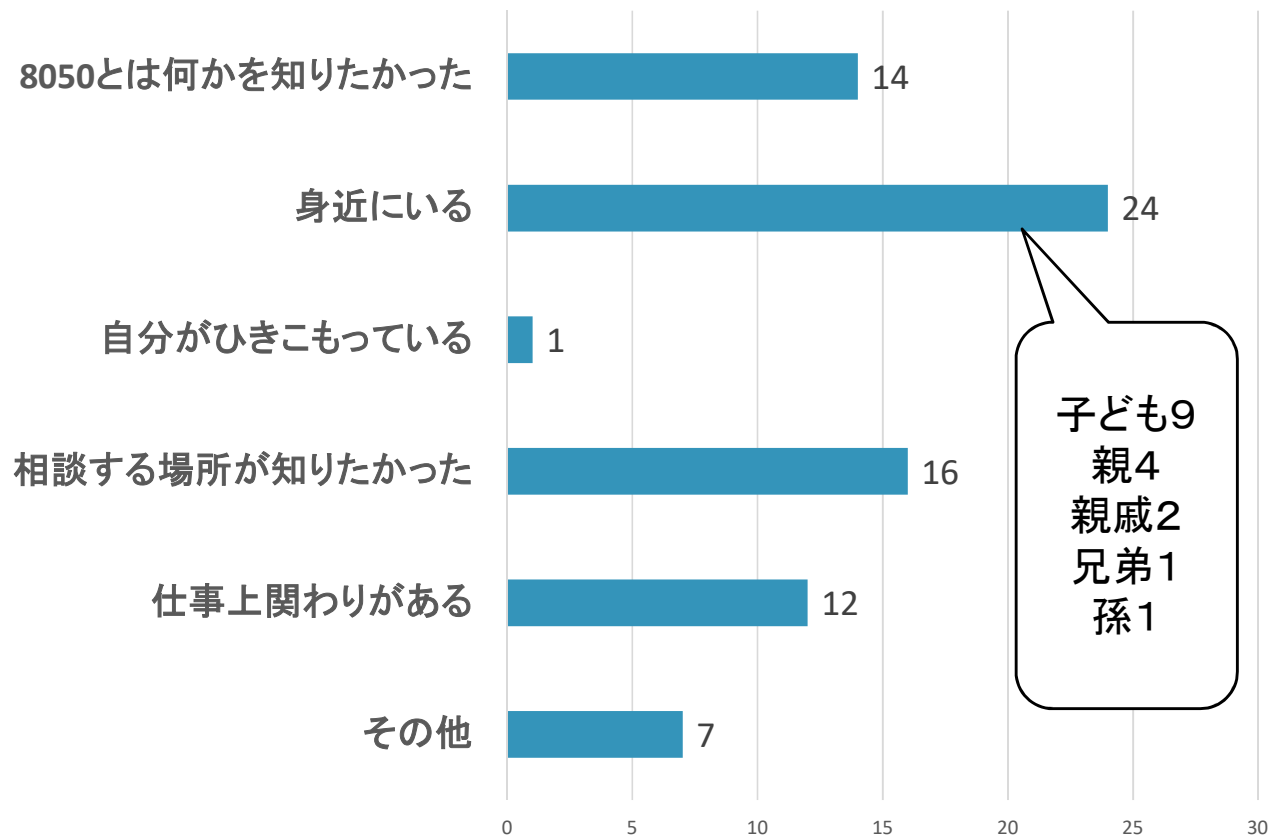
合計179人

参加者の年齢



講演会を何で知ったか





参加しよう
と思った
きっかけ

第1部 ひきこもりからの再スタート

特定非営利活動法人 文化学習共同ネットワーク代表理事 佐藤洋作氏

- ・引きこもりの連鎖をどの年代からサポートしていけばいいのかというのは、**国や歴史、文化**まで遡っていかなければならないほど難しいことだと思いました。
- ・「卒業後すぐに就労」という日本の流れについて、**海外との違い**を初めて知りました。日本人としての**国民性**の大きさをあらためて感じました。
- ・ひきこもり = 働かないではなく働けない、若者を包む不安、怖れが多いことを知れて良かったです。
- ・「自分を開く」、「助けてといえる」世代をこえて**地域の課題**だと思いました。

第2部 8050と医療

千葉市心の健康センター所長 稲生英俊氏

- ・心理面から解説してくださり、分かりやすかったです。「精神科の受診」という**世間体**をどう突破するか（つなげていくか）その山を乗り越えるのが課題になっています。
- ・コンパクトで大変わかりやすく、ひきこもりの原因の**精神疾患**との関連がすごく勉強になった
- ・"きっかけをつくる"ということ、大切なんだと実感しました
- ・**世間体**が悪いなど**日本の文化、社会的考え**が変わり支援拒否が減っていく社会になればと思いました。

第2部 千葉市による8050問題への取り組み

NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば副理事長 平田智子氏

- ・ 市（中央区）での現状、活動内容が聞けてより興味をもちました。「センターへ行く」というアクションにつながるまで、焦りは禁物ですね。
- ・ 事例がとても参考になった。就職後継続して見守る制度が、もう少し**社会に明確**になってほしいと思った。
- ・ ひきこもりになることは特別なことではなく**誰にも起こりうる**状態なこと、またひきこもりサポーターの活動を知れて良かったです。
- ・ 相談する場所を知るといのはとても大切だなと改めて感じました。知らないというだけで、どこにもつながることができないというのは、さらなる**孤立**を生んでしまうことにもなるのだらうと思いました。

第3部 当事者座談会（親の立場、子の立場）

- ・ お話参考になりました。親の立場、この立場それぞれの変化、少しずつの歩み寄り、難しいですが**第3者の介入**でそれが可能になっていくことが大切なことと感じました。
- ・ それぞれに変わるきっかけが訪れたことで変化があり、そのきっかけをうまくつなげていくことが出来たのではないかと感じました。
- ・ 相談場所や家族との関りが大切になると感じました。引きこもることは悪いことではなく、本人にとって必要な時間であると考えられることに気づきました。

個別相談会

- ・千葉県ひきこもり地域支援センター 5人
- ・中央区障害者基幹相談支援センター 5人
- ・千葉障害者キャリアセンター 1人
- ・生活自立仕事相談センター中央 2人

合計13人

➤ 市外からの相談も多く、市外の適切な機関へのつなぎも行った

②地域勉強会

- ・9月 椿森地区 民生委員向け勉強会
参加者 16名
- ・11月 星久喜地区 地域運営委員会にて勉強会
参加者 25名

2. 問題解決のための支援体制づくり

①連携体制づくり

事例検討会 10月から毎月実施

千葉市こころの健康
センター

千葉市あんしんケア
センター

千葉市ひきこもり地
域支援センター

中央区障害者基幹
相談支援センター

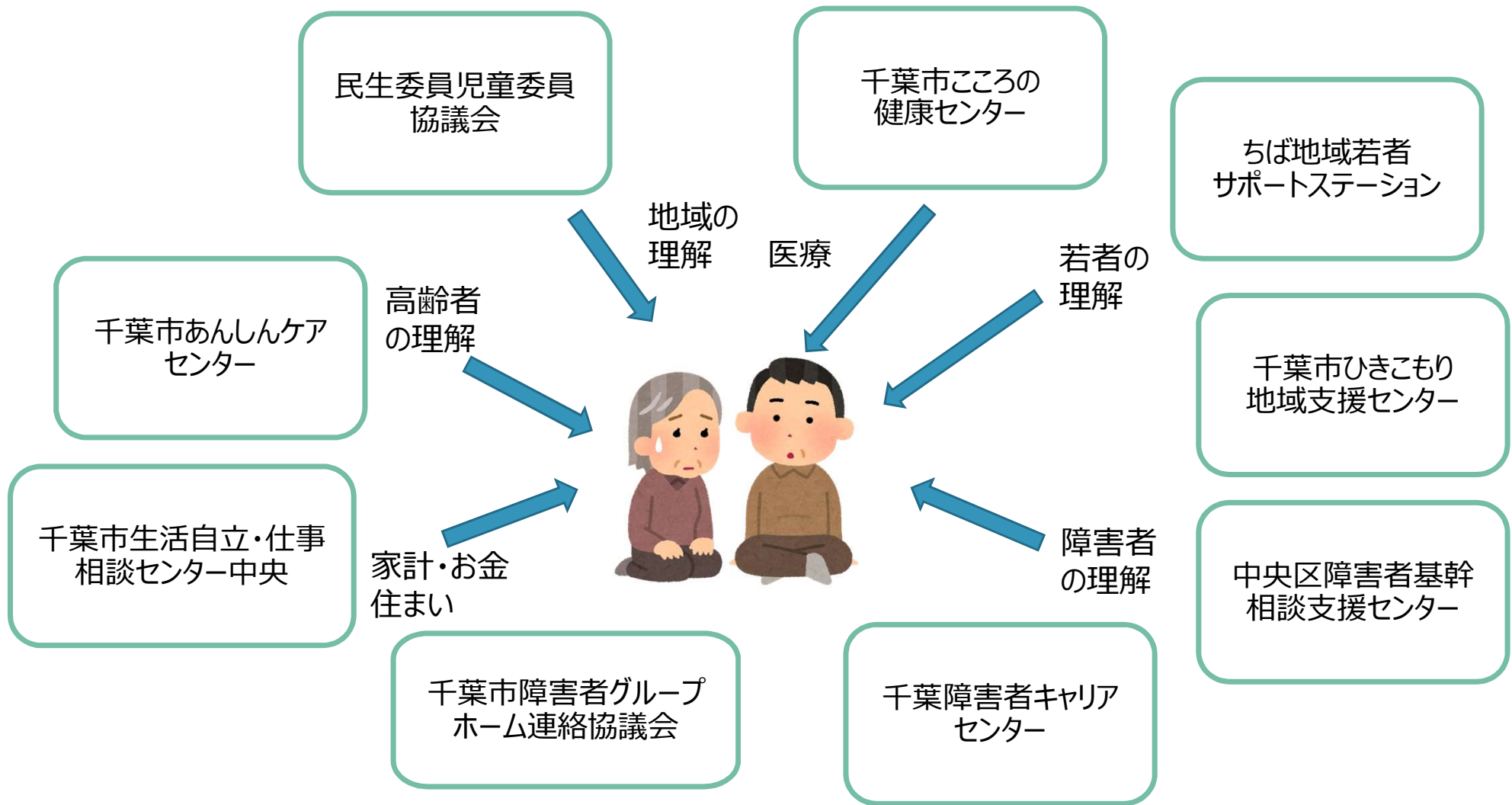
民生委員児童委員
協議会

千葉市生活自立・
仕事相談センター中
央

千葉障害者キャリア
センター

千葉市障害者グ
ループホーム連絡協
議会

ちば地域若者サポー
トステーション



子どもが暴れて、家にいられなくなってしまった

生活自立・仕事相談支援センター

子どもが暴れて近所から苦情
大家さんからも引越すように
言われてしまった

子どものことは自分が
一生面倒をみないと

千葉県あんしんケアセンター

千葉県障害者グループホーム連絡協議会

障害者基幹相談支援センター

千葉県こころの健康センター

昔から何をやっても
うまくいかず
イライラする

誰かに話を
聞いてもらいたい

千葉県ひきこもり地域支援センター



8050問題の相談件数 (中央区障害者基幹相談支援センター)

	2021年	2022年
10月	本人・家族 1件 障害福祉サービス事業所 1件 あんしんケアセンター 1件	本人・家族 6件 民生委員 1件 障害福祉サービス事業所 1件 ケアマネージャー 1件 援護課 1件
11月	なし	あんしんケアセンター 3件 本人・家族 2件
12月	本人・家族 1件	あんしんケアセンター 3件 本人・家族 2件

お互いの支援の意図を知る



80側支援者

子どもがお金を搾取している

子どもが家を出て行くように**早く**説得して欲しい

早く子どもを入院させてほしい

対立

50側支援者

じっくり関係をつくろう

親子が言うことを聞きすぎている

親としての役割(毅然とした態度)を考えてほしい



令和5年度 活動計画

令和5年度活動計画

1. 困りごとを相談できる地域づくり

①市民向け講演会（継続）

②町内自治会を対象にした地域勉強会（継続）

2. 問題解決の支援体制づくり

①専門職向け研修会の実施（継続）

②支援につながっていない人への対応を検討

予算の使い方

・市民向け講演会費用

【目的】8050問題を幅広く、中央区民に知ってもらうため

- ・講師報酬費
- ・講演会チラシ（デザイン費、作成費）
- ・会場使用料

ご清聴ありがとうございました